

令和2年3月1日発行

# まなざし

## 横手清陵学院PTA会報

発行 秋田県立横手清陵学院中学校PTA  
秋田県立横手清陵学院高等学校PTA  
編集 横手清陵学院PTA広報部



合唱コンクール



芸術鑑賞



文化講演会

今年度のPTA活動も会員の皆様のご理解とご協力、そしてPTA役員、各専門部の方々のご協力をいただきながら無事終了できました。誠にありがとうございます。今年度も新役員体制の元に会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、活力ある横手清陵学院PTAであることを願います。

今年度のPTA活動も会員の皆様のご理解とご協力、そしてPTA役員、各専門部の方々のご協力をいただきながら無事終了できました。誠にありがとうございます。今年度も新役員体制の元に会員の皆様のご理解とご協力をいただきながら、活力ある横手清陵学院PTAであることを願います。



高等学校PTA会長  
木村 忍

### 今年度の活動を振り返り



探究発表会

今年度のPTA活動も、会員・役員の皆様のご協力、そしてご参加により無事終了することができました。ありがとうございます。今年度、PTA会長という大役を引き受け、責任を今までもなく感じた一年でした。その責任がよい刺激となり、毎日の生活が充実していたように感じます。

今年度のPTA活動も、会員・役員の皆様のご協力、そしてご参加により無事終了することができました。ありがとうございます。今年度、PTA会長という大役を引き受け、責任を今までもなく感じた一年でした。その責任がよい刺激となり、毎日の生活が充実していたように感じます。



中学校PTA会長  
細谷 真由美

### 一年を振り返って



冬季スポーツ教室

最後に、一年間PTA活動にご協力いただきありがとうございます。心から感謝し御礼申し上げます。

昨年7月発行の45号で、「まなざし42号が高P連広報紙コンクール秋田県審査で最優秀賞、東北地区審査で優良賞を獲得し、全国出版へ」という話題を紹介しましたが、昨年の秋には「まなざし」編集への取組が何と全国で表彰されるという嬉しいニュースが飛び込んできました。高校PTAの木村会長さんには、受賞のためにわざわざ京都まで出向いていただき、本当にありがとうございます。



校長  
信田 正之

### 昨年の成果を契機として

# 中学校修学旅行

3年B組 小松田 唯

東京から日本の姿とこれからについて学ぶために、そしてたくさんの思い出をつくるために私たち3年生は班ごとに十分な下調べをして修学旅行へと向かいました。

スカイツリーでは四季のエレベーターに乗り、頂上展望台から街並みを見下ろしました。小さく見える東京を背景にして写真を撮ったり、フロア内にあるオリピックの紹介について触れることができる場所に行ったりしました。各フロアはたくさんの方から観光に来ている人であふれていて、外国の人とあいさつを交わす場面が多く見られました。

浅草では、班別に行動しました。仲見世通りには日本らしさを感じることができ、大勢の人々でにぎわっていました。ものすごく大きな雷門と、迫力のある浅草寺に圧倒されました。



初めてのミュージカル、劇団四季での観劇。本当にライオンキングの世界が広がっているようで、最初から最後まで感動で興奮が収まりませんでした。人間が見えているのに動物が動いている、そんな不思議な空間がとても心に残っています。

帰りのバスはとても静かで、全員が疲れている様子でした。ホテルの部屋に着くと、友達同士でお土産を見せ合ったり写真を見返したりして、普段はできないことをたくさん楽しめました。ベッドに入ると「楽しかった」「疲れた」という様々な声が聞こえてきて、有意義な時間を過ごすことができたと感じました。

2日目の自主研修では班ごとに企業や神社などを訪問し、それぞれのテーマに沿って研修を進めました。東京駅の前は他校



て、団結力もより深まり、友情もさらに深まったと思います。全力で楽しむことができたのは、保護者の皆さん、先生方のおかげです。楽しかった修学旅行で学んだたくさんのこと、そして感謝の気持ちを忘れずに、これから始まる高校生活に最大限生かしていきたいと思えます。

の修学旅行生やテレビ局の私たち、外国からの観光客でもにぎやかでした。ドイツニーランドでは思いっきり楽しんで、全員の笑顔が輝いていました。

集合や移動をする際に、1日目より2日目、2日目より3日目というように、全員が声をかけ合う場面が増えていったように感じました。全体のことを考える声が増えて、深まったと思います。

## 修学旅行古今東西

「遠い記憶ゆえ 事実と反する場合があります」  
あるかもしれません

懐かしの修学旅行について、保護者と先生方にご回答いただきました。地域が変わればその常識も変わるようです。

### 高校

#### 増田高校

京都・奈良(新幹線)

歴史あるお寺や、かわいかった奈良公園の鹿も思い出深いですが、やっぱり宝塚の公演を鑑賞できたことが一番の思い出です。男役がカッコ良かったです。購入したパンフレットは今でも私の宝物です。

#### 秋田中央高校

京都・奈良(新幹線)

吉野の古びた老舗ホテルが宿泊先でした。靈感のある友達が「このホテル、無理!」と言いました。まさかと思いが、部屋の絵画の裏を見ました。先生方の部屋と交換してもらいましたが、あのホテルには二度と行かない、と今でも思っています。

#### PL学園高校

つくば万博・東京メトロ有楽町線(貸切バス)

つくば万博で2001年に届く自分へのハガキを書いたことです。書いた内容はすっかり忘れていましたが、34歳の時にそのハガキが届きました。結婚はしているのか?子どもは何人いるのか?など、ほとんどが自分への質問でした。

#### 山形県立酒田西高校

京都・広島(特急電車・新幹線)

厳島神社の大鳥居まで、干潮時に歩いてわたったことです。足下はぬかるんでいましたが、鳥居の大きさに感動しました。

# 高校修学旅行

## 国内修学旅行

2年3組 山影 浩 夢

10月14日、いつもより早い朝と共に、私たち国内組の修学旅行はスタートした。電車の中では、これからの計画の話で胸を膨らませ、そうこうしているうちにあつという間に目的地の京都に到着した。

着くやいなや目に飛び込んできたのは無数の建物と大勢の人の波。このとき、「ああ、修学旅行が始まったな」と再確認した。

初日は北野天満宮へ。なかなかの時間正座をしたので足がしびれてしまった。

2日目は班別研修で、私たちの班は金閣寺を訪れ、生の金閣寺の迫力に圧倒された。



3日目は奈良の東大寺へ。奈良公園では鹿のフンを何個踏んだかわからない。

4日目はUSJへ。楽しすぎて時間の感覚を失ってしまうほどだった。

最終日は姫路城を訪れ、楽しかった修学旅行も終わりを迎えた。

この最高の修学旅行を通してクラスの仲が深まったと思う。この濃密な思い出とともに、今後の学校生活も十二分に頑張っていきたい。



## 海外修学旅行

2年1組 嶋 森 悠 真

10月14日午前5時、われわれの修学旅行は幕を開けた。秋田空港から羽田空港まで飛んだあと、国際線でシンガポールのチャンギ国際空港に降り立った。日本にはない空気感と匂いにみんなが興奮していた。その日の夜、私たちは修学旅行

に対する高揚感から、なかなか眠ることができなかった。



2日目は班別に、現地の大学生と一緒にシンガポール市内を巡り、買い物などを楽しんだ。その後ナイトカフェで、昼の動物園では見られない動物たちの姿を観察した。

3日目は、シンガポールの隣国マレーシアのジョホールバルという都市に行った。国境での入国審査は少しだけ緊張した。

4日目は待ちに待ったユニバーサルスタジオシンガポールへ。日本とはまたひと味ちがったアトラクションにみんな大満足だった。

こうして私たちの修学旅行は無事に終わりを迎えた。たくさんの方々のおかげで最高の修学旅行にすることができ、感謝の気持ちでいっぱいだ。



## 中学校

〔羽後町立羽後中学校〕  
北海道 函館・洞爺湖・札幌  
(フェリー・JR青函トンネル)

修学旅行翌日に部活(バレーボール)の全県大会がありました。そのため私たちは宿泊先でも早起きし、朝練をしていました。最終日は秋田駅で途中下車し、そのまま前泊の宿舎へ。そんなこともあってか、旅行のことはほとんど記憶がありません。もう一度北海道にはゆっくり行きたいです。

〔井川町立井川中学校〕  
東京(新幹線)

東京ドームでの野球観戦が印象に残っています。巨人対阪神の試合で、阪神側のスタンドから、周囲の雰囲気緊張しながら巨人を応援していました。お手洗に行っている間に清原のホームランを見逃したのは悔しい思い出です。

〔角館町立角館中学校〕  
東京(新幹線・バス)

東京での班別行動でプロレス好きの友人に半ば無理矢理品川のプロレスショップに連れて行かれました。全く興味がなかった私にとっては未知の領域でした。いざ店に入ると選手のタオルやグッズが陳列される中、店の奥には壁一面の様々なマスク…。異様な光景に恐怖すら覚えました。その後、ちよっとの期間は夢に出てきたような…。今では良い思い出です。

〔金沢中学校〕  
日光・東京

(羽後交通の貸切バス(東北新幹線開通前))  
東京でのナイターが雨で中止となり、上野での自由行動に変更になりました。野球には興味があった私はラッキーと思いましたが、ネオンの明るさと人の多さに圧倒され、友達と途方に暮れていました。勇気を出して入ったデパートの中にあるサンリオショップで過ごしまし

## ゴルフで中学校全県大会優勝

### 試練と成長の3年間

中3保護者 高橋 由美子

学校が終わってからの毎日ゴルフの練習。週末には、早朝から遅い時間まで秋田市内でのラウンド練習。月に数回の遠征などなど……。大変だった時期もありましたが、親子で頑張った3年間は、本当にあっという間でした。

しかし、すべてが順調に進むはずは無く、2年生の時はいくつか結果が出ず悩んでいた時もあり、試合が終わる度に泣いていた姿を思い出します。

自分でしっかり考え、辛さを乗り越えて続けて来た事を誇りに思います。

3年生になり技術が身についた事はもちろん、体力・メンタルの部分でも大きく成長してくれたと思います。

何よりも一番の目標であった秋田県代表メンバーを勝ち取った事は、本人にとってすごく自信になったと思います。

正直、私自身……。本人が最後まで続けられるのか不安もありましたが、今となっては要らぬ心配だったと嬉しく思っています。



## 陸上競技八種競技でインターハイ出場

### 陸上と出会って

高3保護者 大山 弘子

小学校では野球、中学から始めた陸上では幅跳びやハードル、高跳びにも挑戦する機会に恵まれたため、高校で出会った八種競技でパズルが完成するかのよう実を結びました。中学より高くなったハードルに手こずり、塩ビパイプで手作りのハードルを作ったり、腰椎を常に痛めていたため少しでも早く治るようにと弁当のおかずにと工夫を凝らしたりと、今では懐かしい思い出です。

憧れのインターハイに出場することができたのは、恵まれた環境を用意して下さった学校や先生方、そして陸上部の仲間のおかげだと思っております。ありがとうございます。

インターハイ終了後に息子から届いたメールには驚かされました。でも、そこに綴られた言葉で全て報われましたし、今でも宝物です。

大学に行っても陸上競技を続けるようです。焦らずに自分のペースでチャレンジしてくれると信じ、ずっと応援していきたいです。



## 第35回 「青春回顧録」

PTA会員の方からご自身の学生時代をテーマに一筆頂きました。  
ご自分の青春時代と比べてみてください。

### 夢だった甲子園の応援 T・I

私は小学生の頃から高校野球を見るのが大好きで、いつかは自分も甲子園で応援したい！というのが夢でした。そして、運よく甲子園常連校に入学が決まり、在校中に春・夏合わせて5回、甲子園で応援することができました。

初めて甲子園に入った時の衝撃は今でも忘れません。「こんなに広い球場があるのか・・・」と。

そして、一番やりたかった人文字の応援ができた時には夢のようで信じられませんでした。かなりの練習を要するのかと思っていました。当日ぶっつけ本番で、新作の人文字を披露する前に一度だけ全校生徒で練習しました。人文字は、カラーブックというスケッチブックのような形をした色のついた厚紙を、太鼓の音に合わせて順番にめくっていき、色々な文字にしてみました。相手の名前を必ずエールの交換の時に人文字でやっていました。2年生の夏に金足農業高校と対戦した時の人文字の写真は、今では我が家の家宝になっています。

余談ですが、息子も元高校球児で、4年前先輩の代に甲子園に連れて行ってもらった事ができ、私も33年ぶりに、甲子園でまた応援する事ができました。



### あとがき

この季節、気付けばイルカの「なごり雪」をつい口ずさんでいます。早いもので、もう3月。自分が「親」となって迎える卒業のシーズン。子供が手を離れていく切なさ、無事に成長したことへの嬉しさ、と、何とも例えようのない複雑な気持ちで過ごしています。

先生方や家族の精一杯の愛情を受けた子供たち。皆さんが今後歩む道の先に、素晴らしい景色が待っていることを祈ります。

最後になりましたが、おかげさまで広報「まなざし」も今年度最後の発行となりました。ご多忙の中、取材や寄稿にご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。

これからも「まなざし」が学校と生徒、家庭を繋ぐ架け橋となっていけるよう、皆様のご支援をお願い申し上げます。



清陵ホームページ



広報部メールアドレス